

# 県民による 県民のための

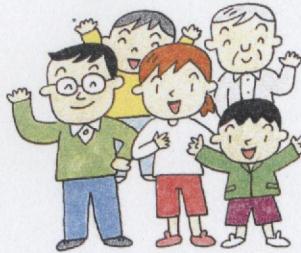
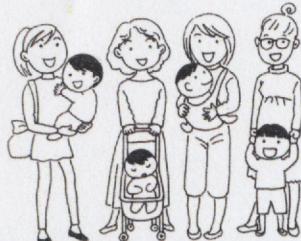
なお必要な被災者の支援、そして被災地の声にもとづく復旧・復興を求

# 県民版『復興会議』

「放射能から子  
どもを守りたい」  
「食品の安全にも  
つと力を入れてほ  
しい」——あなたの願  
いを伺います。

「元の仕事を再開  
したい」「働く場がほ  
しい」——農業、自営業、  
勤めていた人、パート  
さん：悩みやご意  
見を伺います。

「暮らせる家  
を取り戻したい」  
——津波と地震の  
被災者の要望、都  
市計画のご意見  
を伺います。



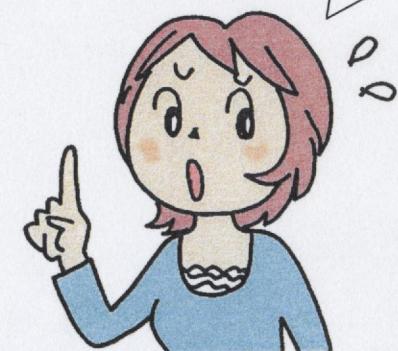
**【ご案内】** 漁業協同組合の方、コメや畜産の農家、解雇や雇い止の撤回を求める人、宅地被害に公的支援を実現する取り組み、障がい者の問題、子どもと教育の分野のこと、放射能の自主測定の活動、復興計画と移転の問題……さまざまな発言をお願いしています。あなたもどうぞご参加下さい。

各分野・各地域から意見を集めて「提言」を発表しました。そのダイジェスト版を配布します。

◆9月19日(月=祝日)13時30分開会  
◆仙台弁護士会館 4階 大ホール

入場は無料です。誰でも自由に参加し、発言できます。

村井知事の「震災復興会議」は“エライ人”ばかり。12人のうち宮城県民は2人だけ、被災地代表は一人もいません。だから、誰でも参加でき、意見や悩みを何でも言える場をつくることにしました。



主催=東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

「被災者が主人公の復旧・復興」を求める住民運動で、5月29日に400人で正式発足。弁護士、医師、研究者、一級建築士などの個人、各地の被災者の会、福祉・医療・教育・環境・農民等の市民運動が参加しています。ブログ=<http://blog.canpan.info/miyagikenmin/>  
【事務所】仙台市青葉区大町2丁目5-10-305 電話022（399）6907